

報告書

2020年 9月 8日

活動実施団体名 鳥羽市立海の博物館

(公益財団法人東海水産科学協会)

責任者名 館長 平賀 大蔵

報告書作成者名 平賀 大蔵

1. 活動の名称 (タイトル・テーマなど)

「海の博物館周辺の海で ウミウシを探そう！」

2. 実施日

第3回目 2020年8月22日 (土曜日) 11時30分～14時30分

3. 実施場所

三重県鳥羽市浦村町大吉1631-68

鳥羽市立海の博物館から歩いていく大吉半島の東海岸の2か所の磯

4. プログラム等

11時30分集合・スケジュール紹介 11時45分持ち物を確認して出発

12時00分磯に到着 (注意事項説明の後、ウミウシ等の生きもの採集)

13時50分写真撮影等 14時00分帰路 (海博到着後足等の洗い)

14時25分集合・感想 14時30分解散

5. 対象・参加人数 (内訳)

参加者15名 (小学生7名とその親や祖父母8名)

<参加小学生：小学1年生2名、2年生1名、3年生1名、5年生2名、6年生1名>

スタッフ：北村、内藤、平賀

6. 活動の内容・状況・感想 (参加者並びに主催者)

ウミウシとは、貝殻をもたない巻貝の仲間の総称です。その美しい色彩と多様な形態が多くの人を魅了しています。海の博物館から歩いて行ける大吉半島の磯に大潮の干潮時に出て、磯の岩陰や海藻類の中に潜むウミウシ類を探しながら磯の生きものに触れる体験です。捕獲したウミウシをはじめとする磯の生きものは、観察会終了後、磯(海)に放して終了しました。今回も海に腰まで入って、岩陰などを水眼鏡で覗いてウミウシを探しました。最初の場所で1時間、その後場所を変えて別の磯で1時間ほどウミウシを探しました。

・捕獲したウミウシ類は、アオウミウシ2匹、ヒメメリベ1匹、ヤツミノウミウシ1匹、コガネマツカサウミウシ1匹の合計5匹4種類でした。

・参加者の感想

ウミウシを見つけたお母さんは、ケースに入れて観察、写真を撮って家族で楽しむことができた。子どもがとても喜んでくれて嬉しかった。

ウミウシを見つけた小学生は、岩の陰にアオウミウシを見つけて嬉しかった。捕ろうとしてもなかなか岩から外すことができなかったけど、最後はうまく捕まえることがで



きたので、また参加したい。

磯の潮だまりにはいろいろな生きものがいた。捕まえたヒトデや魚をアクリルケースの中に入れて子どもと楽しんだ。時間があっという間に過ぎて、もう帰るのかと思った。スタッフが、転石の下にいた小さなヤツミノウミウシやコガネマツカサウミウシを見つけてみんなに教えてくれたので、小さな珍しいウミウシを見ることができて良かった。



・主催者の感想

子どもが「アオウミウシを見つけた」と大きな声で叫んで、慎重に捕獲するのを大人たちが励ましながら見守っていたことや、やっと捕まえたウミウシを嬉しそうに見せてくれた子どもの笑顔が良かったです。お母さんが捕まえたウミウシをいれたケースを見つめていた子どもの表情も良かったです。

ウミウシを探す過程で、いろいろな海の生きものに触れることに参加者は楽しんでいました。「まだ帰りたくない」という子どもたちの声が「海の自然や生きものに興味・関心を持ってくれたのかな」と、主催者として勝手に思い込んでしまいそうです。子どもたちが海に出て楽しんでもらえる企画をこれからも考え、開催していきたいです。

